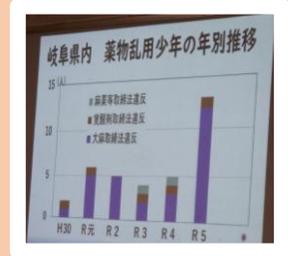




～ 軌跡 (きせき) ～

第8号



9月26日(金) 保健講話 (命の大切さを学ぶ授業) より

今年度は、命の大切さをテーマにした映画「遺体～明日への10日間～」を鑑賞しました。“東日本大震災の壮絶な様子と共に、遺体安置所の人々を通して日本人の死生観をも映し出す”衝撃的な内容の映画でした。日常生活において「命」について真剣に向き合う機会はそれほど多くはありません。しかし今、どこかで命に向き合わなければならない人がいます。自分もいつどこでその場面に向かい合うことになるかはわかりません。今回の講話は生徒も教員も、命の大切さを学ぶとても貴重な時間となりました。

10月10日(金) 薬物乱用・闇バイト防止講話 より

関警察署の方より、薬物乱用・闇バイト防止講話をしていただきました。薬物に関しては若者の「大麻」の所持・使用率が高くなっていること、身近な人から「違法薬物」と知らされないで勧められる危険性が高いことに、人ごとではなく危険が日常生活の中に潜んでいることを学びました。闇バイトに関しては、アルバイト求人雑誌やサイトに掲載されている中にも「闇バイト」が紛れていること、実際には報酬はもらえず、登録してしまったら恐喝されて抜け出せなくなり、自分が逮捕されてしまう恐ろしさを学びました。正しい知識を身につけて、危険から身を守るようにしなければなりません。

